

右之通諸國一統相心得、浦賀中川兩御番所并房次郎役所江送リ狀差出、改を請候様御料は其所之奉行御代官私領は領主地頭を不洩様可知觸もの也。

十二月

右之通可被相觸候

〔御觸并御書付留^四〕下リ酒之儀山城外拾ヶ國之外江戸積送差留之儀御觸書

下リ酒之儀山城河内和泉攝津伊勢尾張三河美濃紀伊播磨丹波拾壹ヶ國之外は是迄江戸表積送候儀無之候然ル處去ル未年以來諸國三分一造被仰出候上は猶以是迄江戸送不致國々を可積送筋無之筈に候間以來上方筋之儀は右拾壹ヶ國之外は江戸送致間敷候若積候ものも有之候は、其儘積戻可申付候。

右之通東海道筋中山道筋五畿内中國御料は其所之奉行御代官私領は領主地頭より不洩様可觸知者也。

寛政四子年十月

〔天保集成絲綸錄^{九十六}〕文化三寅年九月

大目付へ

近年米價下直ニ而世上一同難儀之趣相聞へ候、右體米穀澤山之時節ニ付諸國酒造リ人共は不及申、休株之者其外是迄渡世ニ可仕ものにて、勝手次第酒造渡世可致候勿論酒造高是迄之定高ニ拘はらず、仕入相稼可申候。

右之通御料私領寺社領共、不洩様可觸知もの也。

九月

右之趣可被相觸候